

わくわく国語

第5号

～子どもが輝く国語の授業づくり～

文責：森崎

文部科学省の研究指定を受けています！

学校便り（学校HPにアップしています）などでも紹介されており、八千把小学校は、平成27、28年度文部科学省の研究指定を受けています。そのため、国語の授業の様子を公開する「公開研究会」を11月25日（金）に予定しています。その際は、保護者の皆様にもご協力いただくことがあるかと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。



八千把小のキャラクター
やっちくん

今年度1回目の研究授業がありました 子どもたちの成長が随所に感じられました！

先々週から先週にかけて、5つの学級で研究授業が実施されました。その様子をご紹介します。

2年4組では、「スイミー」というお話で、自分の心が動いたところやそのわけをみんなに伝えました。また、作者であるレオ＝レオニさんの他の本を読んで、同じように心が動いたところをまとめました。元気よく手が挙がっていました。

3年3組では、「こまを楽しむ」という説明文の学習でした。実際に駒を見て意欲を高め、関連図書の学習では、凧やお手玉など昔遊びについての事典を作ることに取り組みました。校内放送で事典の紹介もしました。



4年2組では、「動いて、考えて、また動く」という、陸上選手だった高野進さんが書いた説明文を読んで、事実と考えを読み分け、段落の関係をとらえました。また、体に関する説明文を読んで、興味をもったところを紹介するリーフレットづくりをしました。関連図書も意欲的に読んでいました。



5年1組では、同級生の微妙な心の通い合いを描いた「なまえつけてよ」という学習で、物語の山場を見つけたり、「巧みな一文」を探したりしました。子どもたちは活発に意見を交わしていました。



6年4組は、講師の先生や職員全員の参観のもと授業が行われました。「時計の時間と心の時間」という説明文で、筆者の主張や工夫をとらえ、自分の体験を加えて筆者への手紙を書く、という学習でした。昨年からの重点的に取り組んでいる班での交流が自然にできていました。

子どもたちの学習の様子から、昨年度より取り組んでいる研究が実を結びつつあることを実感した研究授業となりました。



ちっちさん



わっちくん

